

(1) 研究主題

研究主題 自ら考え行動する子

(2) 今年度の研究主題設定の理由

本校では、学校教育目標「生きる力を身につけ、可能性を追究する児童の育成」を受け、めざす児童像を「考える子」「学び合う子」「進んで行動する子」として教育活動を進めてきた。

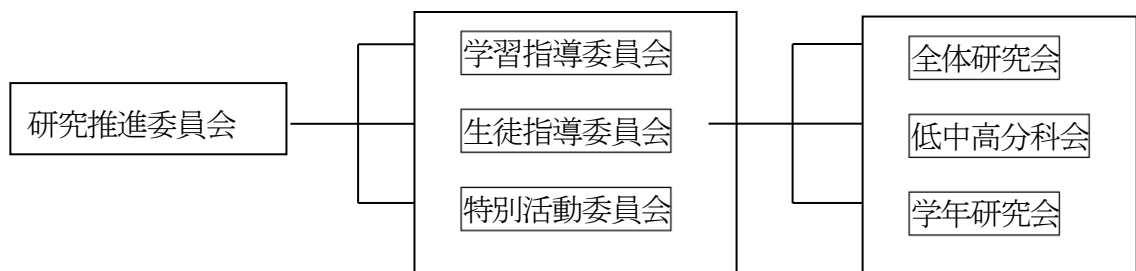
昨年度も、「自ら考え行動する子」という主題で研究を進めてきた。「主体的に」「粘り強く」行動する児童を育成するために、学習では、「読む力（考えわざ）を活用させるための手立て」「話す力（伝えわざ）を活用させるための手立て」を工夫し授業実践をしてきた。考える視点に気づかせるための資料の提示、発問、教具、場の設定等の「考えわざ」を活用させる手立てを行うことで、児童が根拠をもって考えたり、学び方を意識して学習したりする姿が見られた。また、交流モデルや話形の提示、多様な交流形態など、「伝えわざ」を活用させるための手立てを行うことで、児童が、効果的に相手に伝えようと工夫していたり、話し方を相互評価したりすることにつながった。

今一度児童の実態を見つめ直してみると、少しずつ見通しをもって行動したり、自分事として捉えて考えたりすることができてきた。友だちのよさや頑張りを認め合う意識も生まれている。しかしながら、粘り強く最後まで取り組んだり、自ら課題を見つけ、解決しようとするところまでは難しく、まだまだ「受け身の」な姿も見られた。そこで、見通しをもって、解決の方法を考え、周りの人との関わりの中で粘り強く解決していく経験や、「自分たちの力でできた」という経験を積み重ねていくことが必要であると考え、今年度も引き続き『自ら考え行動する子』という研究主題を設定した。また、昨年度から「読む力・話す力向上推進校」の指定を受けている。読む力・話す力をつける取組を行いながら、読む力・話す力を適切に使って、主体的に課題を解決していく活動を大切にしていきたい。

社会の変化が激しく、未来の予測が困難な時代の中で、児童は、変化を前向きに捉え、社会や人生をより豊かなものにしていく力が求められる。本校の児童は落ち着いた環境の中で明るく素直に活動し、与えられた課題にまじめに取り組んでいる。素直に取り組む西小の児童の良さを生かしながら、学習、生徒指導、特別活動のいずれの活動においても、上記の目指す姿に近づくため取り組んでいく。

(3) 研究の組織と構想

研究は、学校教育全体が担うものと考え、3委員会が連携して実践する。研究推進委員会の構成メンバーは、校長、教頭、教務、研究主任、生徒指導主事、特別活動委員会リーダーとし、研究推進委員会は、必要に応じてメンバーの誰でもが、開催できることとする。



西小学校研究構想図

学校教育目標 **生きる力を身につけ、可能性を追究する児童の育成**
 めざす児童像 「主体的に考える子」 「主体的に学び合う子」 「自ら進んで行動する子」

自ら考え行動する子

学習指導委員会

特別活動委員会

読む力・話す力を使って主体的に解決しようとする子

- ★授業の重点
 - ① 「考えわざ」を適切に活用させるための手立て
 - ② 「伝えわざ」を適切に活用させるための手立て
- ★学びを支えるもの
 - ・学校研究の推進
 - ・学びを支える取り組み
 - ・家庭・地域との連携

よりよい学校づくりのために、主体的に考えて動く子

- ★児童会活動の充実
 - ・代表委員会を通じた主体性の育成
 - ・主体的な委員会活動の推進
- ★縦割り活動の充実
 - ・自分にできることを見つける態度の育成
 - ・高学年の企画、運営力の育成
- ★体力の増強
 - ・年間を通じた体力向上の取り組み
 - ・遊びの中での体力向上の取り組み
 - ・地域の学校サポーターの活用
- ★健康づくりの推進
 - ・歯口の健康づくりに関する取り組み
 - ・けがの防止と病気の予防
 - ・家庭との連携

生徒指導委員会

生活を見直し、よりよい自分を主体的につくりだす子

- ★温かい心の育成
 - ・西小のナイス
 - ・心の日
- ★基本的生活習慣の定着
 - ・生活目標・西っ子のやくそく
 - ・にしの日
- ★子ども理解・家庭や地域との連携
 - ・心の日の振り返り・相談ボックス
 - ・いじめアンケート ・児童理解の会

家庭・地域との連携

- ★家庭と連携した、生活習慣の定着と家庭学習の充実
 - ・西っ子ノート
 - ・西っ子のあゆみ
- ★地域人材の活用
 - ・ゲストティーチャー
 - ・スクールサポーター
- ★読書活動の充実
 - ・子ども読書の日
 - ・読み聞かせボランティア
 - ・図書整理ボランティア